

ひとひと 「女と男のパートナーシップ創造講座」を開催しました

市では、男女共同参画社会の形成に向けた意識づくりのため「女と男のパートナーシップ創造講座」を毎年開催しています。

今年度は、もりおか女性センター長の平賀圭子さんを講師に迎え、「『男女共同参画』っていったいどんなことなのでしょう?」を共通テーマに、花巻・大迫・石鳥谷・東和の4地域で基礎講座を開催した後、そのまとめとして合同講座を開催しました。

◇「女らしさ」「男らしさ」「自分らしさ」

6月から7月にかけて行われた4地域の講座では、延べ62名の方が参加し、「女らしさ、男らしさ」について考えるグループワークを行いました。



その中で、一般的にイメージされている「女」や「男」と必ずしも自分が一致するものではなく、人にはそれぞれ個性があるということに気づき、「女らしさ」「男らしさ」とらわれず、自分らしく生きることのできる社会が「男女共同参画社会」であるということ学びました。

◇日本は後進国?

～男女共同参画に関する国際比較より

7月27日開催の合同講座は、各地域の受講者から14名の方が参加して行われました。

はじめに、男女共同参画推進員が4地域の講座の様子を紹介し、前回の講座で学んだことを振り返りました。

続いて、男女共同参画社会に関する国際的な比較をした資料をもとに日本の状況を確認しました。

国会議員における女性の割合や男女の賃金格差、男女の家事分担意識などのデータから、日本は他の諸国と比較して「男女共同参画」があまり進んでいない現状がわかりました。

そのような現状についてグループで話し合った結果、「男女共同参画の面で、日本は後進国だと改めて確認した」「若い世代の意識は変わってきているようだが、男は仕事、女は家事・育児・介護・・・といった社会通念を壊せないのはなぜだろう」「女性が社会進出できるための支援と男女が気兼ねなく育児休暇をとれるような体制が必要」「男性ももっとこのような講座に参加して欲しい」などといった感想が発表されました。



◇身近なところから始めよう!

～男女共同参画社会の実現に向けて

平賀講師は、「10年前に比べ、女性の力は伸びている。政治の場に女性が少ないというが、いきなり国会議員にはなれない。身近なところからの取り組みが大切であり、女性が頑張れば世の中は変わる。『元気な子どもの声が聞こえる町』にしていくなためにも、『今、自分ができること』から始めましょう」とまとめました。

お知らせ

活用してみませんか! ～男女共同参画研修補助金～

市では、男女共同参画に関する全国的な研修事業に参加される市民の方に、旅費・参加費の一部を補助します。

- ◆補助の対象となる事業
日本女性会議など全国規模の研修会や大会等
 - ◆補助の対象となる方
市内に在住する20歳以上の方
 - ◆補助金の交付額
対象経費の2分の1以内で、3万円を限度
 - ◆応募方法
研修事業実施日の30日前までに男女共同参画推進室に必要書類を提出
- ※詳しくは男女共同参画推進室にお問い合わせください。

男女共同参画推進フォーラムを開催します

ひとひと 女と男が多様な個性を認め合い、生き生きと生活できる社会をめざして、今年もフォーラムを開催します。どうぞご参加ください。

- とき 平成19年12月22日(土)
午後1時開会
- ところ なはんプラザ コムズホール
- 内容
☆講演 「50歳からの挑戦」
～女性たちの思いを映画に託して～
講師 松井 久子さん(映画監督)
- ☆映画上映 「ユキエ」
(松井久子さん第1回監督作品)



●We(ウィー)への意見・感想などをお寄せください。

編集 男女共同参画情報紙編集委員
表紙イラスト 大越 佳代子さん

発行 花巻市地域振興部男女共同参画推進室
〒025-8601 花巻市花城町9番30号
TEL / 0198-24-2111(内線420)
FAX / 0198-22-6995
E-mail / danjo@city.hanamaki.iwate.jp
H P / http://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/



男女共同参画社会の実現に向けて

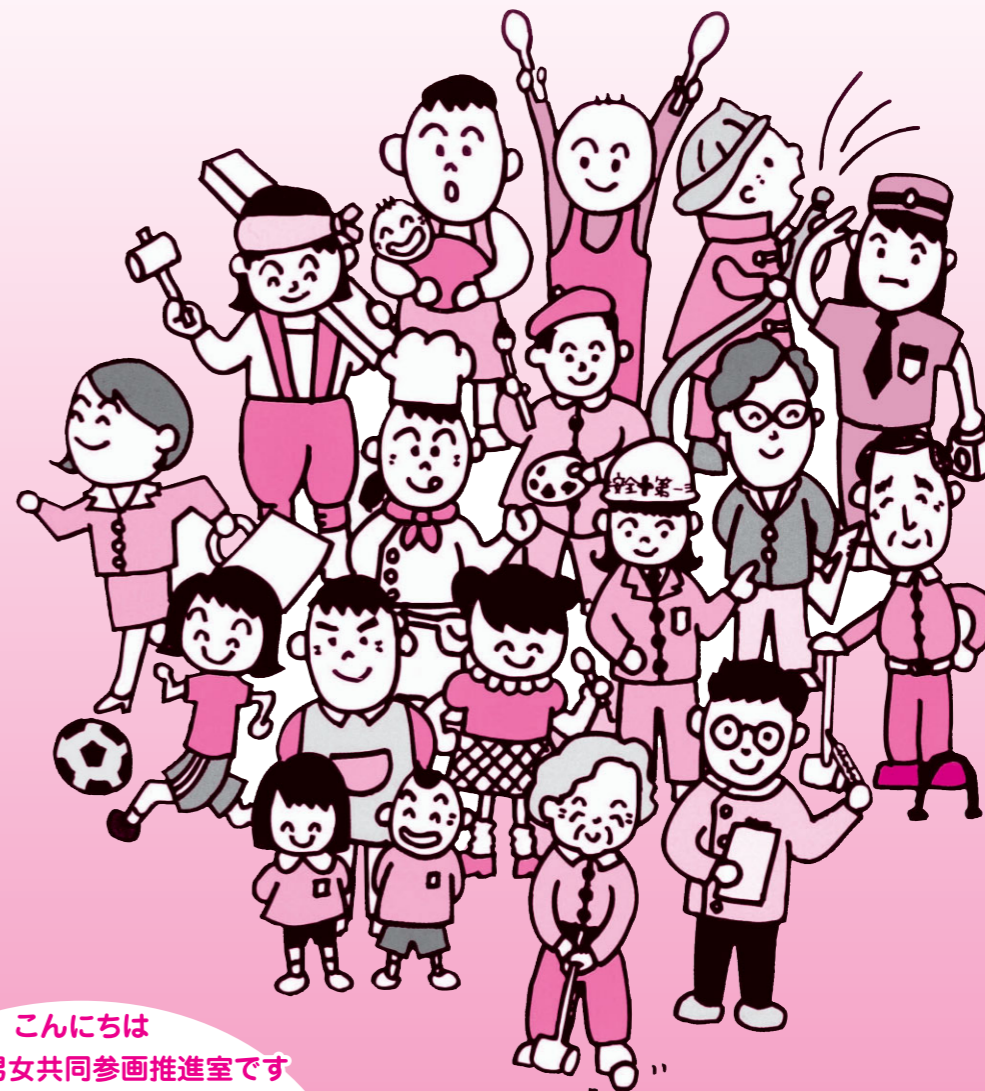
vol. 3

平成19年 10月

はなまき

— 特集 —

こうしてもらいたいなあ・・・こんなときに腹がたつツ!!
— 女と男の言い分・おもい・本音 —



こんにちは こちらは男女共同参画推進室です

花巻市の男女共同参画は、地域振興部男女共同参画推進室が担当しています。推進室では、各地域に委嘱している15人の男女共同参画推進員の皆さんと協力しながら、講座の開設やフォーラムの開催など、3月に策定した「花巻市男女共同参画基本計画」に基づいた事業を進めています。事務室は市役所の2階にあります。どうぞ気軽に声をかけてください。

We(ウィー)は英語で「私たち」という意味。

男女共同参画社会の実現に向けて「私たちみんなで考え、みんなですめていきたい」

そんな願いを込めて「We」と名づけました。

ザ・談会

こうしてもらいたいなあ・・・こんなときに腹がたつツ!! 女と男の 言いぶん・おもい・本音

家事の分担はどうしていますか?



- ◆お弁当作りから食事の支度など基本的なことは全部やっていますが、家事には時間をかけません。自分のしたいことをしたいので。
- ◆夫は農業で朝早くから仕事をするので、朝食は私が作ります。夕食は早く帰ったほうが作ります。
- ◆夫は結婚した頃、何もできませんでしたが、今ではご飯を炊いたり、味噌汁や野菜炒めなどできるようになって、本人も喜んでます。子どもも「お父さんのおにぎり大好き！」って言ってます。

- 結婚してから食事は一切私が作っています。好きなので…。妻は洗濯とアイロンがけ。掃除は半々くらいですね。
- 料理はしませんね。ソーメンを茹でる位はしますが…。食器洗いと掃除機をかけるのが私の役割になっています。もう少ししたほうがいいかな…。
- 洗濯物を干したり、ゴミを出すのは私の仕事です。自分では結構家事をやっていると思っていたけど、時間的にはそうでもないのかな？時間があれば自分で料理もしますよ。



女性と男性が、家庭の中で、より良いパートナーであるためにはどうすればいいでしょうか。

Weでは、男女共同参画講座等を受講されたことのある方々にお集まりいただき、家事の分担や、パートナーに対する日頃の思いを話していただきました。皆さんも考えてみませんか。

家庭の中で、相手に腹がたつのはどんな時ですか?



- ◆忙しいのはわかるけど、帰りが遅くなる時は電話くらいしてくれてもいいのにと思う…。
- ◆家計に対しては細かいのに、自分の趣味のためには湯水の如くお金を使うなんて！
- ◆「ここが汚れてる」とかって私にばかり言わないで、そう思うなら自分でやってよ！
- ◆何で朝の忙しい時に、ひとりシャワーなんか浴びているの！子どもの面倒くらい見てよ！
- ◆こっちが話をしているのに反応がない！ちゃんと聞いているの？
- ◆人にものを頼むときに「あれしろ！これしろ！」って。何なのその言葉遣い！

- 仕事に夢中で連絡せずに遅く帰った時、妻が腹を立てていた。遊んでいるわけではないので、そんなに怒らなくてもいいのに…。
- 自分が作った料理に文句をつけられると腹が立つ！味付けがどうだとか、インスタントを使ったとか…。
- せっかく一生懸命食器洗いをしたのに、「汚れが残っている！」と指摘されるとムカっとする！気づいたのなら黙って洗ってくれてもいいのに…。
- 朝出がけに、「何時頃帰る？」と聞かれても、いろいろあるんだから朝のうちにわかるわけないよ！

自分らしく、そしてお互いが心地よく暮らしていくために、どうしていますか?



- ◆不満に思っていることがあったら、きちんと相手に伝えるようにしています。我慢するとストレスになるんじゃないかな？
- ◆相手に遠慮してやりたいこともやらないのはもったいないから、お互いが認め合える範囲内で自分がやりたいことをやっていきたい！
- ◆お互いのことに興味を持てば、共通の話題ができて、もっと楽しくなると思う。
- ◆自分の気持ちを伝え、相手の気持ちにも耳を傾けていきたいですね。
- ◆お互いのやっていることに興味を持ってほしいのかなと思う。そうすれば、変わったことに気づいたり、「やってもらったなあ」と思うし…。
- 「それを言っちゃーおしまいよ」という、相手が嫌だと思えることは絶対言わないように気を付けています。
- つい口に出し、相手を傷つけた時は、ちゃんと謝ることが大切だと思います。
- なるべく普段から会話するようにしています。もし相手に「たまっている」ことがあれば、それを引き出したいなと…。
- 自分の気持ちを素直に伝えるにはやっぱり「照れ」があります。でも「こそぞ」という時には「照れ」を振り払って「ありがとう」とか「大変助かった」と言葉で表すことが絶対大切だと思う。
- 「この位のこと言わなくてもわかるんじゃないか」と思うことも、ちゃんと言葉にしてコミュニケーションをとったほうがいい。

～座談会にご協力いただいた方々～

子どもの前では仲良くするのが一番だけど、時には思ったことを徹底的に話し合う姿勢を子どもに見せたいと思っています。

小國 紀代美さん (桜台)



大森 博文さん (北湯口)
家事をやるのが当たり前だと思って育ちました。親父もやっていましたから。妻の実家の台所にも立ちますよ。



妻と二人でベタンクを楽しんでいます。共通の話題があるっていいですね。
伊藤 欣治さん (上小舟渡)



中島 節子さん (二枚橋)
夫が休みの日は私も休み、食事の用意はしません。結婚当初からの私が決めた「マイルール」です。



平賀 悦子さん (石神町) 平賀 恒樹さん
外では不公平を感じることもあるけど、家の中では自分だけが我慢しているってことはないですね。
4月に結婚したばかり。2人の生活をまだ模索中です。「気遣い」を大事にしたいな。